

厳しいしつけと甘いしつけが児童の感情制御に及ぼす影響 (中間報告)

白百合女子大学大学院文学研究科 原山郁花

The Impact of Harsh Discipline and Lax Discipline on Children's Emotion Regulation

Graduate School of Literature, Shirayuri University, HARAYAMA, Ayaka

要 約

感情制御は社会適応や、精神的健康の維持に中心的な役割を果たすことが知られており、適応的な感情制御を獲得することは発達過程における重要な課題の一つであるといえる。親は、子どもの感情制御の形成に影響を及ぼす最も身近な存在であり、先行研究からも子どもの負の感情への応答といった直接的な子どもの感情への関わりによる影響が示唆されてきた。しかしながら、子どもの感情を直接扱うような関わりではなく、子どもの問題行動に対するしつけのような日常的な養育行動が、子どもの感情制御の発達に影響を与えるプロセスについては十分に検討がなされていない。そこで、本研究では、不適切な養育行動である厳しいしつけ及び、甘いしつけが子どもの感情制御に与える影響について調査する。

【キー・ワード】 児童期, 感情制御, 厳しいしつけ, 甘いしつけ, 怒り

Abstract

Emotion regulation is known to contribute to individual's social adjustment and psychological health. Learning the way to regulate emotion effectively is one of the most important tasks of childhood. Parents are the primary socializer of children's emotion regulation. There is substantial literature examining the link between parenting behaviors interacting directly with children's emotion and children's emotion regulation. However, the process that daily parenting behaviors not interacting directly with children's emotion influence on children's emotion regulation development has not been explored. The primary goal of the present study is to examine relations between parenting behavior when faced with children's misbehavior and children's emotion regulation.

【Key words】 middle childhood, school-age, emotion regulation, lax discipline, harsh discipline

問題と目的

感情は、個人の状態を、自身及び、他者に知らせるシグナルとしての機能を持ち、我々は、他者とのコミュニケーションの中で、感情の表出と解釈により、対人関係の調整・維持を日常的に行っている。感情の強度や持続時間の調整が絶妙に行なわれ、状況に適合した形で表出されることは、個人の社会適応や精神的健康の維持に重要であると考えられており (Gross, Richards, & John, 2006; John & Gross, 2004), このような感情調整のプロセスは「感情制御」という構成概念として知られている。適応的な感情制御の獲得は、発達過程における重要な課題のひとつであると考えられる。

感情制御の研究では、自己制御の萌芽がみられる乳幼児期に注目が集まっている (Morris, Silk, Steinberg, Myers & Robinson, 2007)。しかし、感情制御はその後連続的に発達し、関連する神経系が成熟するのは思春期以降であることが知られている (Bariola, Gullone, & Hughes, 2011; Wessing, et al., 2015)。児童期になると、怒りの表出が周囲から支持されないため、子どもたちが怒り感情を隠すようになることが推察されている (Underwood, 1997)。実際に、感情制御が適応を左右する要因のひとつであるという報告もなされている (e.g. Katz, Stettler, & Gurtovenko, 2016)。また、適応問題が出現しやすい思春期の前段階である児童期は、問題が潜伏している時期であることが推測され、調査の必要性が指摘されている (Morris et al., 2007)。

感情制御は、対人場面で生じることが多く (Cole, Martin, & Dennis, 2004)、生活の中で個人が直面するインターフェイスでの環境との相互作用の結果であるといえる。また、感情表出のあり方について、文化的表示規則の影響を受けていることも指摘されてきた (Ekman & Friesen, 1969; 木野, 2000)。よって、個人を取り巻く社会・文化的環境により個人の感情制御のあり方が洗練されていく「社会化」過程について調査していくことは、感情制御の発達を明らかにするために重要であると推察されている (Morris et al., 2007)。

近年、子どもの感情制御の社会化における最も身近な存在として、親に注目が集まっている。なかでも、子どもの負の感情表出に対する応答等の直接的に子どもの感情を扱った社会化に関する研究が多くなされてきた (e.g. Hurrell, Hudson, & Schniering, 2015; Shaffer, Suveg, Thomassin & Bradbury, 2012)。しかし、日本の養育では、意図的または、直接的には教えることはせず自然に学ばせる「沁み込み型」の関わりが特徴とされており (東, 1994)、子どもの感情に対する直接的な関わりだけでなく、日常的な親の関わりによる影響も大きいことが推測される。

そこで、本研究では、子どもの問題行動への親の対応に注目する。厳しいしつけが子どもの感情制御の発達に阻害的に影響することが多くの研究で報告されており (e.g. Chang, Schwartz, Dodge, & Mc-Bride-Chang, 2003; Wang, Wang, & Xing, 2018)、親子間でなされる、身体的・心理的な攻撃が他者との関わり方の基礎となり、社会場面において子どもの負の感情の表出が高まる等の適応的でない感情制御に影響していることが推察されている (Parke et al., 1992)。さらに、厳しいしつけを受けると、脅威や恐怖といった強い負の感情が喚起されるために、効果的な感情制御では対処しきれず、負の感情を内在化させることで状況に一時的に適応していく可能性も推測される。その結果、適応的でない感情制御が定着してしまうことも考えられる。

一方、子どもの行動に制限を設けない許容性の高い養育や、一貫性のない養育として、厳しいしつけの対照である「甘いしつけ」と子どもの感情制御の関連について検討した研究は見当たらない。甘いしつけは、子どもの適応問題を予測することが報告されてきたにも関わらず (e.g. Akhter, Hanif, Tariq, & Atta, 2011; Dishion, Patterson, Stoolmiller, & Skinner, 1991), 子どもの適応問題を予測する主要な要因の一つである感情制御との関係について明らかでない。子どもの問題行動に対して甘いしつけがなされる場合、子どもは制限を受けて自己を抑制する機会が少なくなる等、感情制御の発達にネガティブな影響を及ぼすことが推測されるため、検討の意義があると考えられる。

本研究の目的と仮説

以上のことを踏まえて、本研究では、子どもの感情制御の社会化のプロセスを明らかにすることを目的に、不適切な養育行動が子どもの感情制御に与える影響について調査する。今回不適切な養育行動として検討する厳しいしつけと甘いしつけについて、それぞれ感情制御の異なる側面に影響を与えることが推測される。

仮説は以下の通りである。

仮説 1：厳しいしつけ及び、甘いしつけは児童の怒りの制御とネガティブな関連がある

仮説 2：厳しいしつけは児童の怒りの内在化とポジティブな関連、甘いしつけは児童の怒りの内在化とネガティブな関連がある

仮説 3：厳しいしつけ及び、甘いしつけは児童の怒り表出とポジティブな関連がある

方 法

協力者

小学校 3 年生, 4 年生, 5 年生の児童と保護者 120 組。近隣の公立・私立小学校に依頼し、協力者を募る。各協力小学校には謝礼を渡す予定である。

調査手順

小学校の授業時間を一部使用し、一斉配布・一斉回答により児童用質問紙調査を実施する。保護者回答用の質問紙は家庭用配布物として児童が持ち帰り、後日郵送方法にて回収をする。

測定方法

The State-Trait Anger Expression Inventory (STAXI) の怒り表出尺度 (Spielberger, 1988; 日本語版 鈴木・春木, 1994) を使用し、児童の感情表出の様子について、児童本人、保護者により評価を行う。児童回答用の質問紙の項目については、協力児童にわかりやすい文章になるように表現を部分的に修正した。

親の養育行動については、The Parenting Scale (PS; Arnold, O'Leary, Wolff, & Acker, 1993; 日本語版 井潤, 2010) を参考に作成した尺度を使用し、子どもが認知する親の不適切な養育行動の測定を

する。協力児童に分かりやすい文章になるように、表現等も部分的に修正し、質問項目のうち、“本意でないことを言う”など保護者の内面を問うような項目や“現実的な脅かしや警告を実行しないことがある”など、児童にとって判断の基準がわかりにくいと考えられる項目は、予め除外した。

倫理的な配慮

本研究は、白百合女子大学の人間総合学部「人を対象とする研究」研究倫理審査委員会の審査を経て、承認されたものである（第 20190001 号）。

分析方法

事前分析として各尺度の因子分析を行い因子構造の検討を行う。記述統計及び相関分析で標本の特徴を調査する。次に、IBM SPSS AMOS 25Graphics を用いてパス解析を行う。

現在の進捗状況と今後の予定

現在、質問紙の配布を行い、データ収集中である。2 月頃より、データ解析を予定している。

引用文献

- Akhter, N., Hanif, R., Tariq, N., & Atta, M. (2011). Parenting styles as predictors of externalizing and internalizing behavior problems among children. *Pakistan Journal of Psychological Research, 26*(1).
- Arnold, D. S., O'leary, S. G., Wolff, L. S., & Acker, M. M. (1993). The Parenting Scale: A measure of dysfunctional parenting in discipline situations. *Psychological assessment, 5*(2), 137.
- Bariola, E., Gullone, E., & Hughes, E. K. (2011). Child and adolescent emotion regulation: The role of parental emotion regulation and expression. *Clinical child and family psychology review, 14*(2), 198.
- 東洋(1994). 日本人のしつけと教育—発達の日米比較にもとづいて—. 東京大学出版
- Chang, L., Schwartz, D., Dodge, K. A., & McBride-Chang, C. (2003). Harsh parenting in relation to child emotion regulation and aggression. *Journal of family psychology, 17*(4), 598.
- Cole, P. M., Martin, S. E., & Dennis, T. A. (2004). Emotion regulation as a scientific construct: Methodological challenges and directions for child development research. *Child development, 75*(2), 317-333.
- Dishion, T. J., Patterson, G. R., Stoolmiller, M., & Skinner, M. L. (1991). Family, school, and behavioral antecedents to early adolescent involvement with antisocial peers. *Developmental psychology, 27*(1), 172.
- Ekman, P., & Friesen, W. V. (1969). The repertoire of nonverbal behavior: Categories, origins,

- usage, and coding. *semiotica*, 1(1), 49-98.
- Gross, J. J., Richards, J. M., & John, O. P. (2006). Emotion regulation in everyday life. *Emotion regulation in couples and families: Pathways to dysfunction and health*, 2006, 13-35.
- Hurrell, K. E., Hudson, J. L., & Schniering, C. A. (2015). Parental reactions to children's negative emotions: Relationships with emotion regulation in children with an anxiety disorder. *Journal of anxiety disorders*, 29, 72-82.
- 井濶知美. (2010). Parenting Scale 日本語版の作成および因子構造の検討. *心理学研究*, 81(5), 446-452.
- John, O. P., & Gross, J. J. (2004). Healthy and unhealthy emotion regulation: Personality processes, individual differences, and life span development. *Journal of personality*, 72(6), 1301-1334.
- Katz, L. F., Stettler, N., & Gurtovenko, K. (2016). Traumatic stress symptoms in children exposed to intimate partner violence: The role of parent emotion socialization and children's emotion regulation abilities. *Social Development*, 25(1), 47-65.
- 木野和代. (2000). 日本人の怒りの表出方法とその対人的影響. *心理学研究*, 70(6), 494-502.
- Morris, A. S., Silk, J. S., Steinberg, L., Myers, S. S., & Robinson, L. R. (2007). The role of the family context in the development of emotion regulation. *Social development*, 16(2), 361-388.
- Parke, R. D., Cassidy, J., Burks, V. M., Carson, J. L., & Boyum, L. (1992). Familial contribution to peer competence among young children: The role of interactive and affective processes. In R. D. Parke & G. W. Ladd (Eds.), *Family-peer relationships: Modes of linkage* (p. 107-134). Lawrence Erlbaum Associates, Inc.
- Shaffer, A., Suveg, C., Thomassin, K., & Bradbury, L. L. (2012). Emotion socialization in the context of family risks: Links to child emotion regulation. *Journal of Child and Family Studies*, 21(6), 917-924.
- Spielberger, C. D. (1988) *Manual for the State-Trait Anger Expression Inventory (STAXI)*. Odessa, FL: Psychological Assessment Resources.
- 鈴木平, & 春木豊. (1994). 怒りと循環器系疾患の関連性の検討. *健康心理学研究*, 7(1), 1-13.
- Underwood, M. K. (1997). Peer social status and children's understanding of the expression and control of positive and negative emotions. *Merrill-Palmer Quarterly (1982-)*, 610-634.
- Wang, Y., Wang, M., & Xing, X. (2018). Parental harsh discipline and child emotion regulation: The moderating role of parental warmth in China. *Children and Youth Services Review*, 93(C), 283-290.
- Wessing, I., Rehbein, M. A., Romer, G., Achtergarde, S., Dobel, C., Zwitserlood, P., ... & Junghöfer, M. (2015). Cognitive emotion regulation in children: reappraisal of emotional faces modulates neural source activity in a frontoparietal network. *Developmental cognitive neuroscience*, 13, 1-10.

